

あつまる つながる まとまる 大いなる田園の町 あつま



広報

あつま



第3回

あつま 復興未来会議

復旧・復興計画 町民ワークショップ

北海道胆振東部地震からの再生に向けた「復旧・復興計画」の策定にあたり、町民参加型の話し合いの場である第3回「あつま復興未来会議」を開催します。

今回は今年度最後の開催となります。皆さん一人ひとりが思い描く“復興”を語り合いながら、厚真町の未来を一緒に考えませんか？

11月30日（土）16時～18時30分

（15時30分開場）

・終了後に会場で参加者交流会を開催します（1時間程度）

総合ケアセンターゆくり 2階介護学習室

第1回のテーマ 「厚真の未来を考えよう」（8月24日終了）

第2回のテーマ 「厚真の資源や課題を整理しよう」（11月16日開催）

第3回のテーマ 「今後必要な取り組みを考えよう」

第1回、第2回の内容を踏まえて、次の4つのテーマについて話し合います。

町内のつながりづくり

- ・被害が大きかった人／そうでない人、地元／移住者、若者／高齢者など、立場の違う人たちの交流や、新しいつながりづくり
- ・住まい再建後も安心して暮らせるコミュニティや、支え合いの仕組みづくり

災害につよいまち・ひとづくり

- ・地震や土砂災害、津波など、これから起こり得る災害に対する「備え」の整備
- ・震災の教訓を生かした地域の防災体制づくり
- ・被災体験や教訓を次世代や町外の方に伝える方法

地域の魅力発信

- ・お金で買えない地域の魅力や誇り、「厚真らしさ」の次世代への継承
- ・震災を経てつながった町外の方や、新たに厚真を知った方に向けた厚真の魅力発信

町民参加の復興

- ・町民主体で行う復興祈念イベントや、活動の具体的なアイデア
- ・さまざまな分野でのボランティア活動や、町民主体の活動を応援・支援する仕組みづくり

参加申し込み

11月22日（金）までに、まちづくり推進課（☎27-3179）にお申し込みください。
※第1回、第2回に参加していない方もお気軽にご参加ください



住まいの再建相談会

住宅再建に関する無料相談会を開催します。
お気軽にご参加ください。



11月28日（木）

14時～20時

※最終受付：19時30分

総合福祉センター 青年室

○参加費無料

○予約不要〔予約可（1世帯1時間）
予約の方は相談が優先されます〕

個別相談

- ・厚真町
- ・住宅金融支援機構
- ・（一社）北海道ビルターズ協会

さまざまな支援制度・融資について専門機関が相談に応じます

融資制度について 資金計画について 町の住宅再建支援制度について
宅地の確保について 住宅建設の計画について

問い合わせ：総務課 災害復興グループ ☎27-2481

ひとのうごき

令和元年10月31日現在 （ ）内は前月比



人 □ 4,546人（-13）

男 2,275人 女 2,271人



世帯数 2,135世帯（-8）

10月1日～10月31日届出分

※窓口などで、広報紙への掲載について確認できた方を掲載しています

「広報あつま」はホームページでもご覧いただけます

<http://www.town.atsuma.lg.jp/office/>

広報あつまの電子書籍はこちらから。
www.hokkaido-ebooks.jp

北海道内のすべてがそろった「電子書籍」ポータルサイト「Hokkaido e-books」

Hokkaido e-books

ホッカイドウイーブックス実行委員会（株式会社 須田製版 内）Tel.011-621-1000（代表）



明日の厚真への“愛”ことば



ATSUMA LOVERS

広報 あつま

2019年 11月号
令和元年

もくじ
CONTENTS

- ひとのうごき
- あつま復興未来会議／住まいの再建相談会
- 北海道胆振東部地震被災者支援情報
- 災害復旧工事／通行止めのお知らせ
- まちの家計簿
- お知らせ
- まちの話題
 - 地域おこし企業人／生活支援員だより
災害ボランティアセンターだより
 - 厚高インフォメーション／将来の夢
 - 中学生海外派遣研修
 - 糸川一也氏講演会／公共交通機関の料金改定
 - 防災のページ
 - Jアラート／気象台ノート
あつま国際雪上3本引き大会
 - 保健の掲示板
 - 子育て支援センター
 - 健康情報
 - 災害と健康
 - ひきこもりでお悩みの方へ
 - 歳末チャリティー即売会／臨時職員募集
こぶしの湯あつま
- 情報ひろば

今月の表紙
COVER



10月6日、こぶしの湯あつま前広場で「あつまマルシェ2019」が2年ぶりに開催されました。町内外から約1,500人が訪れ、会場は新米やメークインの袋詰め放題などの催しや、昔の農機具の実演展示で脱穀を体験する家族連れなどで賑わっていました。



早期復旧を目指して！／

災害復旧工事

問い合わせ

胆振東部地震災害復旧工事厚真町安全連絡協議会

☎080-2867-6611

建設課 土木グループ ☎27-2451

現在、北海道・町などが災害復旧工事を行っています。工事の実施にあたって各発注機関と受注業者による安全連絡協議会を設置し、連携して交通安全や住環境の保全に努めています。

大量の土砂を運ぶため多くのダンプカーが走行するなど、皆さんにはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

●道路災害復旧工事
幌里地区では地震で壊れた道路の復旧工事を行っており、崩れた盛土や斜面の整形、また破損した舗装の打ち替えや側溝の布設替えなどを行っています。
まだまだ復旧工事が始まったばかりではありませんが、被災前の2車線の供用を目指しています。



町による工事

●橋梁災害復旧工事
町内の道道橋梁では地震により、橋台がひび割れたり、桁を支える部材が変形・破断するなどの被害が発生しました。応急的な工事は終了していますが、引き続き本格的な復旧工事を進めているところです。
工事では通行止めなど、交通規制を行わなければ作業が出来ないものもあり、皆さんには大変ご不便をおかけしますが、ご理解をお願いします。

【厚真町内の被災橋梁（道道分）】

- ・千歳鶴川線…厚真大橋、早苗橋
- ・平取厚真線…厚真新橋、宇隆橋、妙見橋
- ・厚真浜厚真停車場線…上厚真大橋
- ・鶴川厚真線…若草橋

北海道による工事

道路通行止めのお知らせ

復旧工事により、次のとおり通行止めとなります。ご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をお願いします。

〈町 道〉

新町富里線(水道橋付近)

◇終日車両通行止め(歩行者は通行可)

11月20日(水)まで

豊川共和線

◇車両通行止め

11月15日(金)～12月15日(日)の8時～17時

町道の工事に関する問い合わせ

建設課 土木グループ (☎27-2451)

〈道 道〉

厚真大橋

◇終日車両通行止め(歩行者は通行可)

12月15日(日)まで

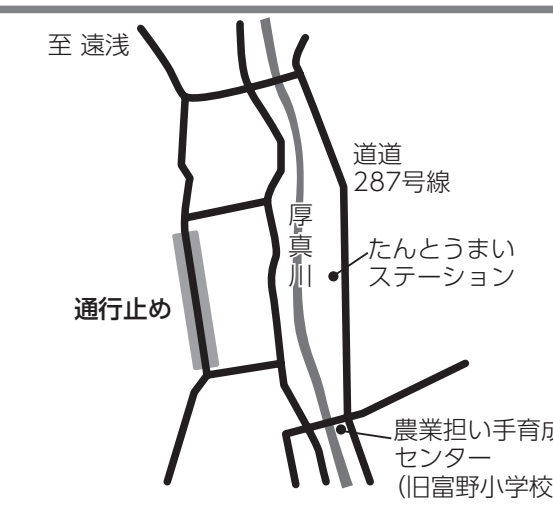
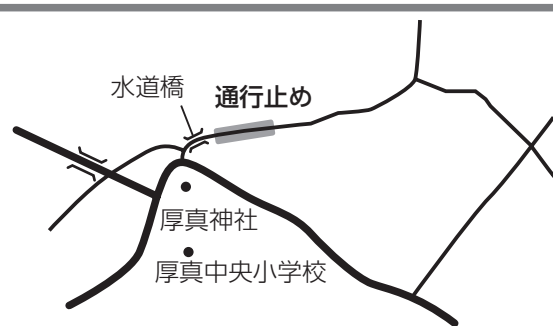
宇隆橋

◇終日車両通行止め(歩行者は通行可)

12月14日(土)まで

道道の工事に関する問い合わせ

室蘭建設管理部 苫小牧出張所 (☎0144-32-3171)



北海道胆振東部地震

被災者支援情報

被災者生活再建支援制度基礎支援金申請期間の延長について

被災者生活再建支援制度における基礎支援金の申請期間が1年延長されました。対象になる方で申請がお済みでない場合は、早めに申請してください。

●対象

- ①住宅が全壊または大規模半壊の世帯
- ②住宅が半壊し、住宅をやむを得ず解体した世帯
- ③敷地に被害が生じ、住宅をやむを得ず解体した世帯

●申請期限

基礎支援金 令和2年10月5日(月)まで

(※変更前：令和元年10月5日(土)まで)

加算支援金 令和3年10月5日(火)まで

●問い合わせ

町民福祉課 福祉グループ(総合ケアセンターゆくり内)

☎26-7872

り災証明の再調査の申請期限が近づいています

家屋の住家被害認定調査について、り災証明書を交付済みの場合でも、その後の余震などにより被害が拡大したなどの理由で再調査を希望される方は申請してください。

※調査は外観および家屋内部を確認します。日程調整を行うため、ご検討されている方はお早めにご相談ください

●受付期間

11月29日(金)まで

※期日以降であってもやむを得ない事情(宅地の地盤被害の拡大による住宅の基礎被害など)がある場合は申請できますのでご相談ください

●問い合わせ

総務課 税務グループ(役場前プレハブ) ☎27-2481

農業被害に係る営農掛り増し経費に対する支援について

町では、地震から1年間に地震などの被害が原因で発生した営農に係る掛り増し経費に対する支援を予定しています。

事業要望(申請)を兼ねた、掛り増し経費を把握するための調査・相談会を実施しますので、対象となる経費がある方は必ずご来場の上、ご相談ください。

●対象者

平成30年9月6日発生の胆振東部地震および平成30年9月5日発生の台風21号の強風により農業被害を受けた方で、営農を再開し、今後も営農を継続する耕種農家および酪農・畜産農家

●対象経費

平成30年9月5日以降に、平成30年および令和元年の営農で新たに発生した掛り増し経費で令和元年9月30日までに支出したもの(被災農業者向け経営体育成支援事業や災害復旧関連事業の対象とならなかったもの)

●会場

総合福祉センター 1階談話室

●持ち物

印鑑、被害状況や経費の内容と金額が分かるもの、口座番号が確認できるもの

●調査・相談会日程

受け付けの関係で農事組合別に日時を指定しますが、指定日に都合がつかない場合は他の日程に参加しても構いません。

※必ず期間内にご来場ください

日 時	農事組合
11月14日(木)	午前 富里・桜丘 午後 幌内・吉野
11月15日(金)	午前 東和・本郷・幌里 午後 高丘・朝日・厚真
11月18日(月)	午前 上鹿沼・下鹿沼 午後 白鷺
11月19日(火)	午前 宇隆・新町 午後 美里・上野
11月20日(水)	午前 共栄・豊川 午後 豊沢
11月21日(木)	午前 富野・上厚真 午後 共和・厚和
11月22日(金)	午前 鯉沼・豊丘 午後 浜厚真・軽舞

午前…9時～12時、午後…13時～17時

●問い合わせ

産業経済課 農業グループ ☎27-2419

まちの家計簿

令和元年度 各会計の予算執行状況

令和元年9月30日現在

特別会計

特別会計は、市町村が行っている特別の事業に対して、支出や収入を分かりやすくするために一般会計とは分けて経理するものです。厚真町には現在、下表の6つの特別会計があります。

特別会計名	予算現額	収入		支出	
		収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	5億8,544万円	2億172万円	34.5%	2億2,121万円	37.8%
介護保険事業	5億6,337万円	2億890万円	37.1%	2億2,392万円	39.7%
介護サービス事業	2,622万円	0円	0.0%	1,210万円	46.2%
簡易水道事業	20億4,275万円	5,754万円	2.8%	2億4,142万円	11.8%
公共下水道事業	2億4,017万円	2,679万円	11.2%	8,513万円	35.4%
後期高齢者医療	8,610万円	2,117万円	24.6%	1,951万円	22.7%

町債（地方債）

国などから借り入れた長期間の借入金をいいます。

区 分	金額
一 般	95億8,409万円
簡易水道事業	52億4,359万円
公共下水道事業	10億7,874万円
合 計	159億642万円

一時借入金

一時的に金融機関から借り入れして支払いに充てるお金をいいます。

区 分	金額
一 般 会 計	10億円
特 別 会 計	なし

財 産

財産は、出資による権利、債権、土地・建物のほかに、特定の目的のために準備しておく元手の資金をいう基金があります。



出資による権利
1億8,439万円



債 権
1億4,389万円



基 金
69億5,151万円



土 地
2,521万9,507㎡



建 物
8万6,338㎡

町民1人・1世帯あたりの比較

※令和元年3月末の人口・世帯数で算出しています。

	予 算 (一般会計+特別会計)	町 債 (地方債)	財 産		
			出資による権利 債権・基金	土 地	建 物
合 計	184億1,009万円	159億642万円	72億7,979万円	2,521万9,507㎡	8万6,338㎡
町民1人あたり (人口: 4,559人)	404万円	349万円	160万円	5,488㎡	19㎡
1世帯あたり (世帯数: 2,143世帯)	859万円	742万円	340万円	1万1,768㎡	40㎡

皆さんに納めていただいた税金や国・道からのお金は、どのくらい使われているのでしょうか。地方自治法および町条例の規定に基づいて、今年9月末現在の令和元年度各会計予算の歳入・歳出、町債（地方債）、財産の状況についてお知らせします。

※各項目の合計と総額との相違に関しては、1万円未満の端数処理によるものです

問い合わせ 総務課 財政グループ ☎27-2481

一般会計

一般会計は、市町村の財政の基本を示す家計簿といえるもので、税金などの収入を示す「歳入」と、その使い道を示す「歳出」の2つから成り立っています。

歳入

	予算現額	収入済額	収入率
町 税	15億2,724万円	8億8,761万円	58.1%
地 方 譲 与 税	8,800万円	2,969万円	33.7%
地方消費交付金	9,000万円	5,657万円	62.9%
地 方 交 付 税	20億3,098万円	11億2,820万円	55.5%
分担金・負担金	5,309万円	1,131万円	21.3%
使用料・手数料	1億1,047万円	4,832万円	43.7%
国 庫 支 出 金	66億8,686万円	1億1,306万円	1.7%
道 支 出 金	6億4,388万円	1億4,021万円	21.8%
財 産 収 入	1億2,054万円	6,376万円	52.9%
繰 入 金	5億9,589万円	0円	0.0%
繰 越 金	5億8,128万円	19億7,165万円	339.2%
諸 収 入	1億5,155万円	3,404万円	22.5%
町債（地方債）	17億4,909万円	0円	0.0%
そ の 他	4億3,717万円	1億1,439万円	26.2%
歳 入 合 計	148億6,604万円	45億9,880万円	30.9%

町内の住民や企業などから集められるもの。町民税や固定資産税、軽自動車税、市町村たばこ税。

自治体の財源として町が徴収すべき税を課税の技術上の理由などにより、いったん国が国税として集め、一定の基準により自治体に配分されるもの。

地方公共団体間の財源の不均衡を調整し、一定水準の行政サービスを確保できるよう財源を保障するもの。

特定の行政目的を達成するために、国や道から町に交付されるもの。

自治体の借入金でその返済期間が2年以上にわたるもの。いわば家計における借金に相当するもの。

歳出

	予算現額	支出済額	執行率
議 会 費	5,309万円	2,569万円	48.4%
総 務 費	10億8,439万円	2億7,090万円	25.0%
民 生 費	9億4,906万円	2億8,811万円	30.4%
衛 生 費	3億8,308万円	8,638万円	22.5%
労 働 費	3,190万円	1,294万円	40.6%
農林水産業費	7億3,365万円	2億1,716万円	29.6%
商 工 費	2億6,284万円	8,117万円	30.9%
土 木 費	10億9,211万円	7,853万円	7.2%
消 防 費	3億4,049万円	1億5,859万円	46.6%
教 育 費	6億3,262万円	1億9,867万円	31.4%
公 債 費	7億1,207万円	3億4,309万円	48.2%
給 与 費	9億5,974万円	4億6,660万円	48.6%
予 備 費	1,877万円	0円	0.0%
災 害 復 旧 費	76億1,224万円	3億6,254万円	4.8%
歳 出 計	148億6,604万円	25億9,037万円	17.4%

議員の報酬、手当などにかかるお金

町の一般的な事務、まちづくりなどにかかるお金

福祉の充実などにかかるお金

医療の充実・ごみ処理などにかかるお金

労働者福祉事業などにかかるお金

産業振興などにかかるお金

商工振興などにかかるお金

道路、河川の整備などにかかるお金

消防、災害対策などにかかるお金

学校教育・生涯学習の推進などにかかるお金

借入金の返済などにかかるお金

職員の給料、手当などにかかるお金

予備のお金

災害復旧にかかるお金

年末調整事務担当者説明会 消費税軽減税率制度等説明会

苫小牧税務署 ☎0144-32-3165
総務課 税務グループ ☎27-2481

年末調整や消費税軽減税率制度についての説明会を開催します。

年末調整事務担当者説明会

令和元年分の年末調整の仕方や各種書類の記入方法について説明します。

日時 11月27日（水）13時30分～15時30分

会場 総合福祉センター青年室

消費税軽減税率制度等説明会

免税事業者を含む全ての事業者の方を対象に、10月に実施された消費税軽減税率制度などについて説明します。

日時 11月27日（水）15時30分～16時

会場 総合福祉センター青年室

パスポートの年内の受け取りは 早めの申請を

町民福祉課 町民生活グループ ☎26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

年内にパスポートの受け取りを希望する方は早めに申請してください。

年内（12月30日（月）まで）にパスポート（旅券）の受け取りを希望する方は、次の期日までに申請手続きを済ませるようお願いします。

申請書に不備がある場合などは、年内に受け取りができないこともありますので、年末年始に旅行を計画される方は、お早めの申請をお願いします。

●年内に受け取るための申請期日
12月16日（月）16時30分まで

※年末年始は窓口が混雑することがありますので、余裕を持ってお越しください。



農林業センサス

まちづくり推進課 企画調整グループ ☎27-3179

農林水産省では令和2年2月1日現在で、2020年農林業センサスを実施します。

農林業センサスは、農林業・農山村の動向を、地域ごとに明らかにして、「チャレンジする農林業経営者」を後押しする施策や「美しく活力ある農山村」を創り、次世代に継承する施策の企画・立案に活用されます。農林業に携わる皆さんのご協力をお願いします。

●調査方法

調査員が地区内の農業経営者、林業経営者に調査票を配布します。

●回答方法

インターネットによる回答、または調査員により調査票を回収します。

●調査期日

12月15日（日）～令和2年2月14日（金）（予定）

●調査対象

町内全農業経営者、林業経営者

しゃべーる前バス停留所の利用中止について

厚真大橋の災害復旧工事に伴う路線バス迂回運行のため、次の2路線はしゃべーる前バス停留所が利用できません。

ご不便をおかけしますが、迂回期間は始発（厚真）の停留所から乗降車いただきますようお願いします。

●迂回対象系統 苫小牧線（上厚真経由）、浜厚真線

●迂 回 期 間 12月15日（日）まで

問い合わせ あつまバス株式会社 ☎27-2311

北海道U・I・Jターン新規就業支援

北海道経済部労働政策局雇用労政課 人材誘致グループ
☎011-251-3896
産業経済課 経済グループ ☎27-2486

北海道が運営する求人サイトに登録しませんか？

北海道が運営する求人サイトの登録事業者を募集しています。登録すると大手求人サイトへも無料で掲載され、また移住者の就業に際し移住者へ支援金が給付される「厚真町移住支援金」対象の法人となりますので、人材不足の解消にお役立てください。

また、法人が対象業種でない場合には、町が推薦書を作成しますのでご相談ください。

詳しくは北海道ホームページをご覧ください



北海道ホームページ



求人マッチングサイト

厚真町移住支援金

産業経済課 経済グループ ☎27-2486

東京圏から移住・就業される方に移住支援金を支給します。

対象要件を満たす方が町に移住し、北海道が運営する求人マッチングサイトに掲載された企業などに就業、または起業した場合に移住支援金を支給します。

●支援金額

支援対象者に、移住にかかる経費として、次の金額を移住支援金として支給します。
単身での移住の場合：60万円
世帯での移住の場合：100万円



詳しくは町ホームページをご覧ください。

●対象

次の①②のどちらも該当する方

①次のいずれかに該当する方

- ・直近5年以上東京23区に在住していた方
- ・直近5年以上東京圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）に在住し、かつ移住3ヶ月前まで雇用保険の被保険者または個人事業主として東京23区に通勤していた方

②北海道が開設する求人マッチングサイトに移住支援金の対象として掲載する企業に新規就業した方、または北海道の起業支援事業による起業支援金の交付を受けた方

安平・厚真行政事務組合からのお知らせ

安平・厚真行政事務組合 ☎22-3151
町民福祉課 町民生活グループ ☎26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

◎ せん定枝の無料回収が11月で終了します

11月末日をもって、せん定枝の資源化回収が終了し、12月から翌年3月は『有料』扱いになりますので、毎週火曜日にもやせるごみ用（赤色）の有料指定袋を巻きつけて、ステーション横に出してください。



◎ 年末年始のごみ収集・自己搬入の受け入れについて

年末年始の休みは、12月31日（火）から1月3日（金）までの4日間です。この期間、収集および自己搬入の受け入れは行いません。1月4日（土）から、ごみ収集（もやせないごみ、有害ごみ）と自己搬入の受け入れを行います。



田んぼのオーナー稲刈り体験



10月6日、幌内地区のほ場で町観光協会主催による「田んぼのオーナー稲刈り体験」が行われ、過去最多となる50組270人が、すがすがしい秋晴れの下で稲刈りを体験しました。

参加者は田んぼに入り稲刈り鎌を使って約95アール分を1時間ほどかけて収穫。参加者の中には同日にこぶしの湯あつま前広場で開催された「あつまルシェ」の会場で、展示していた足踏み脱穀機や唐箕などの昔の農機具を使い、刈り取ったばかりの稲を脱穀する参加者もいました。

なお、刈り取った稲は11月中旬にオーナーの手に渡ります。

町教育委員の伴俊行さん（新町）に感謝状

平成23年10月から2期8年にわたって町教育委員として町の教育行政や文化スポーツ振興に尽力された伴俊行さん（新町・69歳）に、10月2日、役場で宮坂町長から感謝状が贈呈されました。伴さんは「教育行政の仕組みや、新しい教育の取り組みなど、さまざまな経験の機会をいただき感謝しています。これからもスポーツ振興などに携わっていきたいです」と笑顔で話していました。



「平成30年北海道胆振東部地震を振り返り、今後の減災・復興を考える」シンポジウムを開催



土砂移動の特徴などを話す山田センター長



10月27日、北海道大学広域複合災害研究センター（山田孝センター長）と厚真町の共催による「平成30年北海道胆振東部地震を振り返り、今後の減災・復興を考える」シンポジウムが総合福祉センターで開催され、町内外から約80人が参加しました。

このシンポジウムは、農学や理学、工学などさまざまな分野の研究者が連携して災害予測や対策について研究している同センターの活動や成果を活用し、今後の復旧・復興を考えることを目的に実施。

宮坂町長の基調講演の後、北海道大学大学院農学研究院で教授を務める山田センター長ら、同センターに所属する研究者5人が現地調査や過去のデータからの分析結果を踏まえて、北海道胆振東部地震は斜面崩壊が全国的に適用されている危険区域設定基準に合わない特殊な条件下で起こったことを説明しました。また、地震のメカニズム、地震に対する防災についても話しました。

併せて行われた現地見学会では日高幌内川や東和地区などの被災箇所では北海道胆振東部地震の特徴や今後の課題について関係機関や研究者から解説があり、約30人の参加者はそれぞれ質問やメモを取るなど、高い関心を寄せていました。

NPO法人コメリ災害対策センターと物資供給協定締結



宮坂町長と出席した二宮北海道ゾーンマネージャー（右）

10月2日、総合福祉センターでホームセンターを全国展開する株式会社コメリの災害対策組織NPO法人コメリ災害対策センター（捧雄一郎理事長）と町が「災害時における物資供給に関する協定」の締結式が行われました。

この協定は、平常時は相互の連携体制や物資の供給などについての情報交換、防災訓練などでの住民の防災意識啓発などで協力し、災害時は飲料水や生活必需品の供給など、町が必要と判断した物資の供給、運搬を同センターに要請するものです。

式に出席した同センター二宮茂貴北海道ゾーンマネージャーは「これまでの経験を生かして迅速かつ円滑に対応していきたいです」と話していました。

多くの応援と協力に感謝して第19回厚真中学校定期演奏会を開催

10月13日、厚真中学校吹奏楽部の定期演奏会が総合福祉センターで開催されました。この演奏会は例年は中学校体育館で開催されていましたが、より多くの地域の方に聴いていただこうと今年は総合福祉センターで開催。

1部と2部はバッハの「主よ人の望みの喜びを」などのクラシックの名曲やZARDの「負けないで」など昭和、平成に流行した歌謡曲で会場を盛り上げました。3部では厚真町民吹奏楽団や卒業生をはじめとした吹奏楽部とゆかりのある方々との総勢40人による共演で「アラジンメドレー」などを披露。アンコールも含め全12曲を演奏し来場した約150人の観客を沸かせました。



若者の力をまちづくりに生かす旭川大学・旭川大学短期大学と包括連携協定締結



協定書を持つ宮坂町長と山内学長（右）

町と旭川大学・旭川大学短期大学（山内亮史学長）が10月8日、総合福祉センターで包括連携協定式を行い、宮坂町長と山内学長が協定書に署名しました。

町と同大学はこれまで、町を拠点としたコミュニティ調査実習やインターンシップ（職業体験）の受け入れのほか、昨年の地震の際には学生がボランティアや餅つき大会を行うなどの交流を重ねてきました。今回の協定の締結に伴い、交流をよりいっそう深め、地域コミュニティの活性化、人材育成や講師の派遣など幅広い分野での協力を図っていきます。宮坂町長は「旭川大学の持つ教育力と学生のエネルギーを発揮し、厚真町に元気を分けていただきたいと思います」と述べ、山内学長は「町に寄り添い、少しでも復興へのまちづくりに協力できればと思います」と話していました。

短歌

発表会胸の鼓動が鳴り止まず歌い終りてはと和みぬ
雲海は夕陽に染まり緋の絨毯プロペラ機内歓声上がる
天高く季節移ろい風さえも優しく揺らすコスモスの原

あつま文芸友の会発行「文芸あつま第二十三号」から抜粋



厚高インフォメーション Atsuma High school Information

学校の取組をご覧いただけます。
厚真高校ホームページ
<http://www.atsuma.hokkaido-c.ed.jp/>

厚高の取り組みや良さを知ってもらうために「厚高PRポスター」を作成しました。町内および近隣の事業所などや苫小牧市内中学校へ掲示しています。

■芸術鑑賞

▽9月26日(木)

オホーツク管内の遠軽高校吹奏楽局が、あつまスタッドームで厚高生に演奏会を開いてくれました。昨年実施予定でしたが、地震の影響で中止となり、1年の越しの開催でした。被災後、遠軽高校吹奏楽局からは地元の演奏会などで義援金を集めていたなどの支援を受けました。吹奏楽局員70人が、SHISHAMOのヒット曲「明日も」や息のそらったマーチング、高校野球スタンド応援をアレンジし「かつせーかつせー厚真」のエールを披露するなど、本校生徒に迫力ある演奏を披露いただきました。本校生徒会長の蓮池柚奈さんは「迫力があり勇気をもらいました」と述べ、遠軽高校吹奏楽局長は「厚真高校を全力で応援しよう」と自分たちで考えてきまし

た」と話してくれました。

■中学生1日体験入学

▽10月8日(火)

中学校3年生を対象に、厚真町・安平町・むかわ町・苫小牧市から、昨年の約2倍の46人が参加してくれました。厚高の特色について説明し、体験授業では大いに盛り上がり楽しんでいました。一人でも多くの生徒に厚高の良さが伝わればと思います。

■全校強歩大会

▽10月9日(水)

2年振りの開催です。今年は新たな20kmのコースを、参加生徒全員が完走しました。長距離を走りきることで、強い体と忍耐力を培い、ゴール後の達成感・成就感を感じるとる目的で行っています。

厚真町 地域おこし 企業人

file.26



株式会社フェリシモ
みうら たくや
三浦 卓也さん (43歳)

着任 平成29年4月(3年目)
出身地 大阪府(家族は神戸市在住)

最近はどうな活動をしていますか

株式会社フェリシモより地域おこし企業人として厚真町に着任し2年半がたち、昨年の震災以降、「被災した地域のために会社を通じて何ができるか」を考え動いてきました。

震災後すぐにフェリシモのお客さまへ毎月1000円の支援基金の呼びかけを行い、毎月3千人を超えるお客さまがご支援くださりました。集まった基金で厚真神社の復旧と、9月に行われた「森のひろば」の支援に活用させていただきました。

これからの目標や挑戦したいことを教えてください

昨年12月6日にフェリシモの子会社「株式会社JOREQ(ホープフォー)」を上厚真地区に設立しました。

社会課題に事業を通じて向き合う会社に対して投資やコンサルテーションを行う会社で、厚真から日本の未来に「希望」を贈る事業を生み出すことを目的にしています。

今回、この会社で北海道から依頼を受け厚真・安平・むかわの被災3町の復興支援事業を行うことになりました。投資や復興支援事業を通じて少しでも東胆振の未来に希望を贈ることができたと思います。

生活支援相談員 だより

社会福祉協議会 生活支援相談室
電話:29-7407

「せっかく親しくなったのに寂しいよ」・・・

被災家屋の修繕が終わり自宅に戻ることになった方が仮設住宅での生活を振り返って相談員に漏らした本音です。本来自宅での生活の再開は喜ばしいことであるはずなのに、日々の関わりや積み重ねが仮設入居者相互の絆を深めていたことを実感しました。

ある仮設住宅団地では、稲刈りが本格化する前に入居者に幅広く声かけをして懇親会が開催されました。日頃はなかなか腰を落ち着けて話すことができない皆さんですが、この日ばかりは会話も箸も進んでいるようでした。

「いっそのまま自治会にしようか」「仮設住宅を出ても雪かきの時季にはまた来てくれな」など、冗談

とも本気とも取れないやりとりのなかに、約1年間を同じ環境で過ごしてきた入居者同士だから分かり合えることがあるのだと改めて気づかされました。

生活支援相談員は仮設住宅を退居した世帯にも、折を見て伺う機会があります。仮設住宅での暮らしは誰も望んだことではありませんが、そこでの出会いを励みに生活再建を目指す方々がいらっやいます。生活支援相談員として、そうしたつながりを今後も後押ししていきたいと思います。



災害ボランティアセンター だより

町災害ボランティアセンター
電話:29-7407 専用電話:080-1888-3140

9月17日に佐賀県豪雨災害の被災地、大町町災害ボランティアセンターと武雄市のおもやいボランティアセンターへ町の有志の皆さんから提供いただいた野菜(トウモロコシ、ジャガイモ、ニンジン、タマネギなど)や厚真町産の木炭などの支援物資を、厚真町社会福祉協議会を通じて送りました。

また、これまで町に寄せられた励ましを次の被災地に届けようと、メッセージを添えて仮設住宅談話室で行われている編み物教室の作品も送りました。

これは昨年の北海道胆振東部地震の時に町でも復旧活動をしていただいていたボランティア団体

オープン JAPAN が、佐賀県大町町で復旧支援を行っている縁もあってお送りすることとなったもので、住民を励ます炊き出しや被災された世帯へ届けられ、現地の被災住民の皆さんに喜んでいただけたと報告が届いています。



発表します!!

将来の夢&目標

厚真中央小学校6年



くらしげ 蔵重 はる 晴さん



どい やひろ 土居 弥くん



さかもと みりあ 坂本 美里愛さん

モエレ沼芸術花火実行委員会委員長

糸川一也氏講演会

参加費 無料
申し込み不要

と き 11月20日(水) 18時30分～20時 (開場18時)
ところ 総合ケアセンターゆくり2階 介護学習室

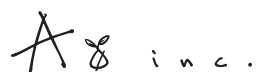
1月27日に行われた町復興イベント「手と手をつないで頑張ろう厚真」のエンディングを飾った尺玉花火。その打ち上げを提供していただいたモエレ沼芸術花火実行委員会委員長の糸川氏を迎えて講演会を行います。

モエレ沼芸術花火は、札幌市のモエレ沼公園で開催される花火イベントで、行政や大手企業の主催ではなく市民手作りの花火大会として平成24年に産声を上げ、来場者数は初年度の9,500人から右肩上がり数字を伸ばし、2万4,000人を集めるイベントに成長しました。

何かを新たに始めること、また、継続することは、大きなエネルギーが必要です。大きなイベントの開催を担い続ける糸川さんの人柄や思いに触れて「何かを始めて続けていくためのヒント」を見つけませんか。



町復興イベント実行委員長
吉住 彰郎さん(右)と糸川氏
(左)



問い合わせ 株式会社エーゼロ厚真 ☎070-1226-0980

本講演会は町から委託を受け株式会社エーゼロ厚真が企画運営しています。



公共交通機関の料金改定について

消費税率改定に伴い、10月1日から公共交通機関の料金が改定されました。主要5区間の料金改定は下記のとおりになります。詳しくは各事業者までお問い合わせください。

■あつまバス ☎27-2311

○路線バス

主要区間	改定前	改定後
厚真～早来駅前	470円	480円
厚真～苫小牧駅前	980円	1,000円
厚真～鶴川駅前	800円	810円
厚真～千歳駅前	1,130円	1,150円
千歳駅前～新千歳空港	220円	230円
上厚真～苫小牧駅前	580円	590円

■道南バス ☎0144-55-7125(苫小牧営業所)

○ハイヤー

	改定前	改定後
初乗り	1.4kmまで550円	1.375kmまで550円
加算運賃	310mにつき80円	305mにつき80円
時間距離併用制運賃※	1分55秒につき80円	1分50秒につき80円

※渋滞や信号待ちなどにより時速10km以下になった場合や、乗客の都合によりタクシーを待機させる場合に適用されます

主要区間	改定前	改定後
上厚真～苫小牧駅前	580円	590円

■J R北海道 ☎011-222-7111(電話案内センター)

主要区間	改定前	改定後
浜厚真駅～苫小牧駅(日高本線)	450円	540円
早来駅～苫小牧駅(室蘭本線)	450円	540円

中学生 海外派遣 研修

町では、昨年度から郷土の未来を担う中学生を海外に派遣する「厚真町中学生海外派遣研修事業」を行っています。

8月7日(水)～12日(月)の6日間で実施した今年の研修には、厚真中学校と厚南中学校から13人の参加があり、オーストラリアでホームステイや現地学生との交流などを通して、英会話の実践を体験するとともに海外の風土や文化、伝統、自然環境などを学びました。

事前準備

6月から全6回実施した事前研修では、英会話の研修と、現地校で発表する「厚真PR(厚真町の紹介)」や合唱の練習を行い、出発に向けて準備を進めました。



シドニー散策

オペラハウスやハーバーブリッジなどの歴史的建造物や市内を巡りました。また、生徒2人と現地の大学生1人がグループを組み、英語で会話しながら歴史地区を探検しました。



現地学校訪問

現地校の授業に参加し、休み時間やランチタイムは生徒同士が積極的に交流しました。

スライドを使いながら厚真PRを発表した後、「あつま田舎まつり音頭」を一緒に踊りました。また、生徒全員で「カントリーロード」を英語で合唱しました。



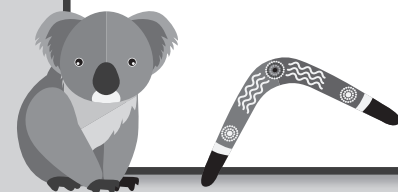
観光・自主研修

動物園でオーストラリア特有の動物を見学しました。

自主研修では、自由に食事や買い物をしました。店員に積極的に話しかけるなど、日頃の英語活動の成果を発揮していました。

ホームステイ

現地で4泊のうち3泊はホームステイ先に宿泊しました。ホストファミリーの手料理を味わったり、名所に連れて行ってもらうなど、より親密な交流ができました。



研修を終えて



派遣団生徒代表
吉岡 凜乃さん(厚南中3年)

語学だけでなく、歴史や文化を理解し合うことの大切さを学びました。また、海外での語学経験や文化交流など貴重な経験ができるチャンスをもらったことに感謝して、これから海外との距離が縮まっていく社会についてだけでなく自ら飛び込んでいけたらと思います。

事後学習 報告会

全5回の事後学習を行い、報告会に向けた準備をしました。中学校文化祭での報告会は、海外派遣を通して学んだことを全校生徒を前に英語で発表しました。



Jアラート 全国一斉情報伝達試験

地震・津波や武力攻撃などの発生時に、警報等の情報を確実かつ迅速に町民の皆さんへお伝えするための情報伝達試験を実施します。

なお、本試験において防災行政無線が雑音により聞き取れないなどの不具合がありましたら、お問い合わせください。

※町以外の地域でも、さまざまな手段で情報伝達試験が実施されます

12月4日 水 11時ころ

※災害等の発生により、試験を中止する場合があります。

Jアラートの自動起動機を使用して防災行政無線・屋外拡声器から放送される標準メッセージは次のとおりです。
(上りチャイム音♪)
「これは、Jアラートのテストです」×3回
「こちらは、ぼうさいあつまです」
(下りチャイム音♪)

問い合わせ 総務課 研修防災グループ ☎ 27-2322

噴火警戒ベル

日本には現在111の活火山があり、そのうちの50火山で火山活動を24時間体制で常時観測・監視しています。胆振地方の有珠山・樽前山・倶多楽も常時観測火山で、噴火警戒レベルを運用しています。

噴火警戒レベルは、火山活動の状況に応じた「警戒が必要な範囲」を踏まえて、主に火山周辺の防災機関や住民等の「とるべき行動」を5段階に区分した指標で、それぞれのレベルのキーワードが基本的な防災対応となっており、レベル5は「避難」、レベル4は「避難準備」、レベル3は「入山規制」、レベル2は「火山口周辺規制」、レベル1は「活火山であることに留意」です。「とるべき行動」は気象庁ホームページなどで確認してください。

また、火山が噴火した時は火山灰が降ります。気象庁では降灰予報を発表して降灰の範囲や降灰の始まる時間、降灰量などをお知らせするので、火山灰の影響を受けないようにゴーグルやマスクなどによる防護、外出を控えるなどの行動をとってください。

問い合わせ 室蘭地方気象台 ☎ 0143-22-4249

気象台ノート



あつま国際雪上3本引き大会 参加チーム募集!!

少しでも元気な厚真を取り戻したい、そんな思いから今年も「あつま国際雪上3本引き大会」を開催します。白熱した戦いで厚真の皆さまに元気をお届けします。

ただいま、大会に参加する60チームを募集中! ぜひ、お友だちや職場の仲間同士などでチームを作ってください!

- ・日時: 令和2年1月19日(日) 受付8時30分～ 競技開始10時～
- ・場所: かしわ公園野球場(本郷283-1)
- ・チーム編成: 競技者8人(うち1人は女性が参加すること)、登録は1チーム最大16人まで
- ・参加費: 1チーム8,000円(昼食にそばまたはうどん、おにぎりを用意します)
- ・申し込み: 12月20日(金)までに、持参・FAX・郵送にて申込書を実行委員会に提出してください。

申し込み・問い合わせ

あつま国際雪上3本引き大会実行委員会(町商工会内) 京町37番地
TEL 27-2456 / FAX 27-3877



町では、災害情報や町からのお知らせが放送される「防災行政無線」を無償貸与しています。

「もしものとき」は明日かもしれない

問い合わせ 総務課 研修防災グループ ☎ 27-2322

防災のページ コミュニティ防災力の強化について



町では北海道胆振東部地震の影響により、今もなお降雨などによる土砂災害の危険性、余震などが懸念されます。また、全国的にみても地球温暖化の影響による気温の上昇、局地的降水量の増加、台風の多発・巨大化などにより年々増加する災害は脅威となっています。

10月に発生した台風第19号では、河川の氾濫・決壊による洪水・土砂災害による孤立化、逃げ遅れによる犠牲者の拡大など広範囲に深刻かつ甚大な被害をもたらしました。

昨年の西日本を襲った7月豪雨では、死者224人、行方不明者8人、家屋全壊6,758棟、床上浸水8,567棟と甚大な被害が発生しました。このことから国は「避難勧告等に関するガイドライン」

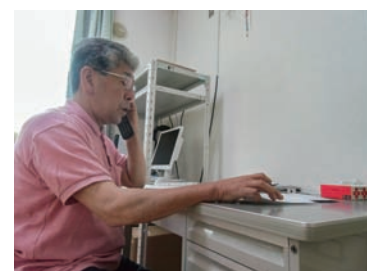
の改定を行い、本年度から警戒レベルを用いた運用が開始されました。

「自らの命は自らが守る意識の徹底」や「地域災害リスクととるべき避難行動の周知」を提言し、コミュニティにおける基本的な知見を兼ね備えた「地域防災リーダーの育成」および「適切かつ継続的な自助・共助の取組の実施」の強化、すなわち「地域防災力の強化」が必要となります。



町内のコミュニティ防災力強化施策の紹介

幌内地区では、土砂災害などの危険性があることから、7月上旬から9月中旬にかけて、幌内自治会の主導により町の防災担当、消防などの関係機関と協力して幌内自治会の避難計画を策定し、新しく自主防災会を立ち上げました。このほか避難計画の住民への周知と計画が実行可能なものかなどの検証を兼ねて9月14日に幌内自主防災会による住民の避難訓練が関係機関も参加して行われました。



自主防災会による避難の伝達



避難してきた住民



訓練終了後の振り返り

ご検討ください

避難計画の策定
・
自主防災会の設立

避難計画は、地域の特性に応じた災害リスクの把握、安否確認要領、要援護者の避難要領、避難経路の設定、避難所生活のマナー、個人の備蓄などの紹介、避難マップなどを盛り込み、策定しています。

自主防災会を結成し、町に設置申請を届け出ることにより、自主防災会への助成金が受けられる制度もあります。町の防災担当が支援しますので、ぜひ皆さんがお住いの地域でも自主防災会の設立、避難計画などの策定についてご検討ください。

詳しくは総務課研修防災グループまでご相談ください。

保健所の相談・検査をご利用ください

問い合わせ 苫小牧保健所 ☎ 0144-34-4168

相談・検査の名称	内 容	日 程	受付・予約
医療相談	保健・医療・福祉などの相談	毎週 月～金※祝日除く	随時受付
女性の健康相談	妊娠、出産、子育てなど女性の心身の相談	12月19日 月	予約：苫小牧保健所 ☎0144-34-4168
こころの健康相談	こころの病気・思春期の不適応などの相談	12月16日 月	
肝炎ウィルス検査	感染が疑われる方は無料(要事前確認)	12月3日 月	
骨髄バンク登録	登録の基準があります	12月3日 月、17日 月	
HTLV-1抗体検査	検査日の10日前までに予約してください	12月17日 月	予約：エイズ専用電話 ☎0144-35-7474
HIV検査(エイズ相談)	無料、匿名検査(要事前確認)	12月3日 月(※)、4日 月、17日 月 (※)は夜間検査予定日	

12月の日曜・祝日当番医

診療時間：9時-17時

日程	区分	病 院 名	住 所(苫小牧市)	電話(0144)
1日(日)	内科系	苫小牧消化器外科	北栄町3-5-1	51-6655
	外科系	苫小牧消化器外科	北栄町3-5-1	51-6655
8日(日)	内科系	方安庵青雲町クリニック	青雲町2-12-16	61-5555
	外科系	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221
15日(日)	内科系	うとないキッズクリニック	北栄町1-22-36	53-8080
	外科系	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	72-7000
22日(日)	内科系	苫小牧東病院	明野新町5-1-30	55-8811
	外科系	とまこまい脳神経外科	光洋町1-12-20	75-5111
29日(日)	内科系	たくしん小児科	拓勇西町3-1-1	53-7788
	外科系	苫小牧東部脳神経外科	北栄町2-27-27	53-5000
31日(火祝)	内科系	錦岡医院	宮前町2-33-4	67-0013
	外科系	ハート整形ペインクリニック	三光町2-5-3	38-7000

12月の日曜・祝日当番医

診療時間：9時-17時

苫小牧市夜間休日急病センター

夜間・休日・年末年始は急病センターも診察を受け付けています。

診療科目 内科・小児科

住 所 苫小牧市旭町2-9-2

電 話 0144-32-0099

平 日 19時～翌朝7時

診療時間 土 曜 日 14時～翌朝7時

休 日 9時～翌朝7時

北海道救急医療・広域災害情報システム

近くの医療機関などが検索できます

http://www.qq.pref.hokkaido.jp

☎0120-20-8699

☎011-221-8699(携帯・PHSから)

子育て支援センター

問い合わせ・予約・相談

厚真子育て支援センター ☎27-2438 京町152(こども園つみきに併設)

厚南子育て支援センター ☎28-3155 上厚真258-7(宮の森こども園に併設)

12月のよてい

森ガール 作って！食べて！たいこDEあそぼう！

日 時：12月3日(火) 9時30分～12時

場 所：厚真放課後子どもセンター

内 容：スワッグ工作、焼き芋、親子でたいこ合奏

※申し込みは11月26日(火)までに各子育て支援センターへ(詳細は後日パンフレット配布)

子育て講座 青竹ビクス

日 時：12月10日(火) 10時～

対象者：子育て支援センターに通う親子

場 所：厚真子育て支援センター

持ち物：汗拭きタオル、飲みもの、動きやすい服装

※申し込みは12月3日(火)までに厚真子育て支援センターへ

子育て講座 編み物講座 「どんぐり帽を作ろう」

子ども用どんぐり帽を作ります。初心者も安心して取り組めるように2回の講座で完成させます。

日 時：①12月11日(水) 10時～11時

②12月18日(水) 10時～11時

場 所：厚南子育て支援センター

持ち物：毛糸(7～8号針用)、かぎ針(お持ちの方)

※貸出あり(7号8号のかぎ針8本)

※申し込みは12月4日(水)までに厚南子育て支援センターへ

自由開放

月曜～金曜日

9時～11時30分、13時～14時

子育て相談

14時～16時(火曜・木曜日)

※事前の連絡をお願いします

サークル活動

14時～16時(月曜・水曜・金曜日)

※予約制です。詳しくは各支援センターにお問い合わせください

ニューママ教室

産婦さんを対象にした教室です。ベビーマッサージをとおして、同じくらい月齢のお子さんを持つママ同士で交流しましょう。助産師への相談もできます。

日 時：12月5日(木) 9時30分～10時30分

対 象：産後2～6カ月のママ

内 容：①ベビーマッサージ②フリートーク(仲間づくり)③助産師への相談

持ち物 母子手帳・バスタオル

プレママ教室

妊婦さんを対象にした教室です。マタニティヨガでゆっくりとした時間を過ごしましょう。

日 時：12月5日(木) 10時30分～12時

対 象：現在妊娠中の方

内 容：①マタニティヨガ②フリートーク(仲間づくり)③助産師への相談

※ニューママとの交流の時間もありますので早めの来所をお勧めします

持ち物：母子手帳・ヨガマット(バスタオル可)

※会場はどちらも厚真子育て支援センター

※申し込みはどちらの教室も11月28日(木)までに各子育て支援センターへ

健診・相談

乳がん・子宮がん検診

対 象	乳 が ん：40歳以上の女性 子宮がん：20歳以上の女性 ※昭和偶数年生まれ、平成奇数年生まれの方に助成あり
と き	12月3日(火) 8時30分～13時(受付)
と ころ	総合ケアセンターゆくり
予 約 先	町民福祉課 健康推進グループ ※要事前予約

予防接種

予防接種について ＜共通事項＞	接種できる日	受 付	町民福祉課 健康推進グループ(接種当日)
	毎週 月・水・金 曜日	接種場所	あつまクリニック
		持ち物	印鑑、母子健康手帳(19歳まで)

◎ 予約が必要な予防接種

インフルエンザ

対 象	全町民 ※65歳以上の方、1歳から小学6年生までのお子さんに助成あり(広報10月号折り込みチラシをご確認ください)
予 約 先	あつまクリニック
接種期間	12月28日(土)午前まで

B C G

対 象	生後5カ月～1歳未満
予 約 先	あつまクリニック ※1週間前までに予約してください

◎ 随時受け付けている予防接種

B型肝炎

対 象	生後2カ月～1歳未満
標準的な接種時期	(初回)27日以上あけて2回 (追加)1回目終了後から20～24週あけて1回

小児肺炎球菌

対 象	生後2～60カ月未満
標準的な接種時期	(初回)生後2～7カ月(27日以上あけて3回) (追加)生後12～15カ月(初回後60日以上あけて1回)

日本脳炎

対 象	3～9歳 ※特例で20歳未満まで接種ができます。詳しくは町保健師にお問い合わせください
標準的な接種時期	(1期初回)3歳：6～28日あけて2回 (1期追加)4歳：1期初回終了後約1年あけて1回 (2期)9歳：1回

問い合わせ 予約・受付	町民福祉課 健康推進グループ ☎ 26-7871 京町165-1(総合ケアセンターゆくり内) (受付時間 9時～11時30分、14時～16時30分)	あつまクリニック ☎ 27-2422 京町15 (受付時間 9時～11時30分、14時～16時30分)
----------------	--	--

小児マヒ(ポリオ)

対 象	生後3～90カ月未満 ※生ポリオワクチン(2回)および四種混合ワクチンをすでに受けている場合は不要
標準的な接種時期	(初回)生後3～12カ月に3回 (追加)初回後12～18カ月後に1回
予 約 先	町民福祉課 健康推進グループ ※1週間前までに予約してください

おたふくかぜ(任意)

対 象	1～3歳未満 ※任意の予防接種ですが町独自の助成により無料 ※すでに罹患済みの場合は対象外
予 約 先	あつまクリニック

ヒブ

対 象	生後2～60カ月未満
標準的な接種時期	(初回)生後2～7カ月(27日以上あけて3回) (追加)生後7～13カ月あけて1回

四種混合(ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)

対 象	生後3～90カ月未満
標準的な接種時期	(初回)生後3～12カ月に20～56日あけて3回 (追加)初回後12～18カ月あけて1回

水痘(水ぼうそう)

対 象	生後12～36カ月未満 ※すでに罹患済みの場合は対象外
標準的な接種時期	(初回)生後12～15カ月未満に1回 (追加)初回後6～12カ月後に1回

MR混合(麻しん・風しん)

対 象	①生後12～24カ月までのお子さん ②平成25年4月2日～平成26年4月1日生まれのお子さん(小学校就学前の1年間)
-----	---

災害と健康

突然やってくる災害は、それまで健康だった人にでもさまざまな心身の後遺症をもたらしかねません。まして持病があれば、ショックから持病が悪化してしまうことがよくあります。また、子どもや高齢者はうまく言葉で表現できないだけに、周囲がそのサインに気づいてあげなければなりません。災害後こそ、こころや身体のケアが大切となります。

町では、自助（住民力）、公助（行政力）、互助（地域力）の視点で、ケアに取り組んできました。そして、これからも、自助や互助の力を高められるよう取り組んでいきます。下記に視点別の取り組みや相談先を掲載しています。相談を希望される方は、下記までご連絡ください。

自助

（住民力）

「自分や家族でできることは自分で」

自らの健康管理（セルフケア）や自らの介護予防、市場サービスを自ら購入するなど

公助

（行政力）

「個人・家族や地域でできないことを公的制度で」

自分自身や家族だけでは問題を解決することが難しく、生命に危険をおよぼす恐れがあるときに公的な判断のもと支援を行うこと

互助 共助

（地域力）

「地域でできることは地域で」

友人、自治会などによる普段からの交流、見守り活動、異変の気づきなど

普及啓発活動

- ・こころの教室（9月実施）
- ・やさしい精神保健講座（3月実施予定）
- ・広報誌健康情報掲載
- ・こころの健康に関するリーフレット全戸配布
- ・既存事業での情報提供

ハイレスク者支援

- ・生活支援相談員（LSA）の配置
- ・こころのアンケート実施（健診事業を活用）
- ・個別相談・継続支援（医師・臨床心理士・保健師などによる家庭訪問・来所・電話）
- ・相談機関の紹介

見守り支援活動

- ・ボランティアによる訪問、情報共有
- ・民生委員や地区保健福祉推進員との情報共有や連携
- ・地域の方々からの情報提供に基づく専門職の支援介入
- ・ゲートキーパー養成講座実施（来年度以降）

地域で暮らす人々の健康問題の解決へ

ショックから立ち直れないまま、うつを発症したり、もともととうつが再発したり、悪化したりする人もいます。ご自身や家族、身近な方に次のいずれかが当てはまる場合は、一人で悩まず相談しましょう。

- ☐ 毎日のように、一日中、憂うつな気分、気持ちが沈んでいる。
- ☐ ほとんど毎日、何ごとにも興味がわかず、以前は好きだったことも楽しくない。

町民福祉課 健康推進グループ（総合ケアセンターゆくり内） ☎26-7871

北海道立精神保健福祉センター

こころの電話相談専用ダイヤル ☎0570-064-556
受付時間▷月曜～金曜日：9時～21時、土曜・日曜・祝日：10時～16時（12月29日～1月3日を除く）
※匿名相談可

苫小牧保健所 健康推進課 健康支援係

こころの健康相談（精神科医による相談）
月1回、予約制 ☎0144-34-4168（代表）
受付時間▷月曜～金曜日：8時45分～17時30分
※相談日以外も保健師が随時相談を受け付けています

今月の担当



保健師
みやもと ゆきよ
宮本 幸世

健康情報

皮膚のかゆみ

～秋から始まっている、皮膚の水分不足～

朝・晩の冷え込みが厳しくなってくるこの時期、ふと見ると「腕や足の皮膚がカサカサして、かゆい…」ということはありませんか？
皮膚の潤いを保つ働きなどを担っている、皮膚表面の角層は、秋になって湿度が下がると水分が奪われ、細胞と細胞の間に隙間ができます。さらに水分が蒸発し、外からの刺激に敏感になり、「かゆみ」が起こりやすくなります。
かゆみは、皮脂分泌の少ない「すね」や衣服でこすれやすい「背中」や「ふくらはぎ」に起こりがちです。しつこいかゆみは、イライラや不眠など生活の質の低下を招いたり、皮脂欠乏性湿疹などの原因になるので、あなごれません。

●保湿と補湿

皮膚の水分不足対策には、皮膚表面の角層をカバーして水分喪失を防ぐ「保湿」と、角層に水分を補う「補湿」の2種類があります。
角層をカバーして水分喪失を防ぐ「保湿」には、油分

保湿剤のタイプ

少	ローション	多
↑	水分が最も多く皮膚に潤いを与える。皮膚表面をカバーする力は弱く、水分が蒸発しやすい。夏の軽い乾燥に向く。	↑
	乳液／泡	
	水分が多く、油分が少ない。水分で皮膚に潤いを与えつつ、油分で皮膚表面からの水分蒸発を防ぐ。秋の乾燥に向く。	
	クリーム	
	乳液や泡より水分が少なく、油分も多い。冬の乾燥に向く。軟こうやオイルほどべたつかない。	
	軟膏／オイル	
	油分が最も多い。皮膚の表面をカバーするが、潤いは与えない。しみないので、ひび割れやかき傷があると向いている。べたつきあり。	
↓		↓
多		少

〈保湿剤の塗り方のポイント〉

- ①朝晩2回塗る（1日1回たっぷり塗るよりも、朝と風呂上りなど1日2回塗る方が効果的）
- ②入浴後、汗が引いてから塗る
- ③量は多過ぎず、少な過ぎず（塗ったところにティッシュペーパーを広げて当てたときに、ゆっくり剥がれ落ちるくらいがよい）
- ④強く擦り込まず手のひらでやさしく
- ⑤冬になっても続ける

が多い軟こうやオイルが向いています。補湿にはより多く水分を含むローション、乳液、クリームが効果的です。空気中の湿度が低下し始める秋には、水分が多く、べたつきにくい乳液や泡タイプの保湿剤がお勧めです。冬になってさらに湿度が下がったら、クリームに変えるなど、環境に合わせて使い分けましょう。

●生活環境の注意
■衣類や寝具はなめらかで刺激の少ない素材のものを選びましょう。
刺激になるものは、人によって異なります。天然繊維でも化学繊維でも、自分に合ったものを選ぶことが大切です。
下着や靴下は締め付けのないものを選び、ベルトなどで皮膚を刺激し続けないようにしましょう。
■暖房の温度は低めに、しっかりと加湿しましょう。エアコンやストーブなどの暖房器具による空気の乾

燥も、皮膚の乾燥の原因になります。室温は17℃～22℃くらい、湿度は40％～60％くらいが目安です。こたつや電気毛布も皮膚の水分を奪うので、長時間の使用には注意が必要です。
☆冬のかゆみ対策は、先手必勝です。乾燥に気づいたら、市販の保湿剤などで早めにケアをしましょう。
また、冬になってかゆみが強くなり、湿疹ができてしまったら、皮膚科を受診しましょう。

**歳末助け合い
チャリティー
即売会**

物を大切にする環境づくりをめざし、たくさんの町民の皆さんから寄付していただいている「歳末助け合いチャリティー即売会」を2年ぶりに開催します。

寄付していただいた物品は安価で販売し、即売会での収益金の一部を歳末助け合い募金に寄付します。

皆さんのご協力とご来場をお待ちしています。

と き 12月1日(日) 10時～12時
と ころ 総合福祉センター2階青年室

寄付のお願い

衣類、運動用品、台所用品の寄付をお願いします。
※衣類については洗濯してあるもの
※家電用品、家具など大きくて運びにくいものはお断りしています

◎ 回収期間
11月13日(水)～11月22日(金)

◎ 回収場所
地区のコミュニティ推進員のお宅または総合福祉センターまで

なお、売れ残った商品の処分に費用がかかるため、ご配慮いただきますようお願いいたします。

問い合わせ：町コミュニティ運動推進協議会事務局（まちづくり推進課企画調整グループ内） ☎ 27-3179

繊維リサイクルのお願い

繊維リサイクルとは、古衣料をウエス（工業用雑巾）に再生することです。

「チャリティー即売会には古すぎてダメだけど、繊維リサイクル用としてなら良いかな」という衣料がありましたら、繊維リサイクルについてもお協力ください。

◎ 回収ボックス（通年）
総合福祉センター、厚南会館、こども園つみき、宮の森こども園に設置しています。

臨時職員募集

放課後児童クラブ支援員

①放課後児童クラブ支援員(時給)
②代替支援員

詳しくはホームページを
ご確認ください。➡

問い合わせ：教育委員会 生涯学習課 社会教育グループ
(青少年センター内) ☎ 27-2495

こども園臨時職員

①保育士 ②看護師
③保育補助員 ④代替調理員

詳しくはホームページを
ご確認ください。➡

問い合わせ：町民福祉課 子育て支援グループ
(総合ケアセンターゆくり内) ☎ 26-7872

町ホームページ [http://www.town.atsuma.lg.jp] 町政情報 > 人事・採用 > 臨時職員の募集

**こぶしの湯 あつま
イベントカレンダー 12月**

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
⑤	② ③倍	⑧ ①	④	① ②	③倍	
8	9	10	11	12	13	14
⑤	② ③	⑧ ①	④	① ② ③倍	②倍	
15	16	17	18	19	20	21
⑤	② ③ ③倍	⑧ ①	④	① ②		
22	23	24	25	26	27	28
⑤ ③倍	② ③	⑧ ①	④ ②倍	① ② 風呂	⑥	
29	30	31				
⑤ ② ③	② ③	⑧ ① 風呂				

◎12月1日～1月31日▶シェフのお勧め季節限定メニュー

問い合わせ こぶしの湯あつま ☎ 26-7126

⑤毎週日曜▶ちびっこデー
小学生はサービス券2枚

⑥毎週月曜▶シルバーデー
65歳以上はあつまカードポイント3倍

⑦毎週火曜▶メンズデー
男性はサービス券2枚

⑧毎週水曜▶高齢者無料入浴券の日
町交付の無料入浴券ご利用の方はヘルシーセットが550円

⑨毎週木曜▶レディースデー
女性はサービス券2枚

⑩最終金曜▶町民の日
誕生月の町民の方はレストラン利用で入浴無料

⑪最終日曜▶ファミリーデー
お子様連れの方は入浴と食事がセットで1,300円

・2と6のつく日はポイント3倍
あつまカードポイント3倍

・5のつく日は無料券利用でポイント5倍
町交付の無料入浴券ご利用の方はあつまカードポイント5倍

・毎月26日は風呂の日
あつまカードポイント3倍、サービス券2枚

⑫毎週月曜・火曜(祝日除く)
▶ビールが半額

⑬毎週木曜・最終日曜
▶ソフトクリーム半額

ひきこもりでお悩みの方へ

北海道ひきこもり成年相談センター
札幌市白石区平和通17丁目北1-13

ひきこもり当事者とその家族を対象としたグループ支援や、相談を受け付けます。

- 電話相談
☎ 011-863-8733（相談専用）
平日9時30分～12時、13時～16時
（土曜・日曜・祝日、年末年始を除く）
- 来所相談 ※予約制
平日9時～17時（土曜・日曜・祝日、年末年始を除く）
- メール相談
こころのリカバリー総合支援センターのホームページをご利用ください。
http://www.kokoro-recovery.org
※返信には10日程度かかる場合があります

北海道立精神保健福祉センター
札幌市白石区本通16丁目北6-34

「青年期親の会」では、青年期における対人不安、抑うつ、社会的ひきこもりなどの家族を持ち悩んでいる家族がお互いに話し合い、孤立感を和らげ、状況を理解しながら家族の対応を考えます。

- 日時
毎月第4木曜日 10時30分～15時
- 場所
北海道立精神保健センター 集団治療室
- 参加対象者
ひきこもり当事者の家族（受け入れ人数は20人以内）
- 電話相談
☎ 011-864-7000
平日8時45分～17時30分
（土曜・日曜・祝日、年末年始を除く）

問い合わせ 町民福祉課 健康推進グループ（総合ケアセンターゆくり内） ☎ 26-7871

ひきこもりとは、病気や体が不自由など、外出できない状況ではないにもかかわらず、さまざまな要因を背景にして、就労や就学など社会的活動の期間が長期（一般に6カ月以上）にわたって失われている状態をいいます。

ひきこもりがある程度長期化し、回復のきっかけが見つからない場合には、ひとりで悩みを抱え込んだり家族の力だけで何とかしなければと考えず、専門の相談機関に相談することも1つの方法です。

まずは、ご本人とご家族が一步踏み出すところから始めましょう。お悩みの方は下記の相談窓口にご相談ください。

こども相談支援センター
札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

不登校やいじめなどに悩む児童生徒や保護者からの相談を受け付けます。

- 電話相談
☎ 0120-3882-56
毎日24時間対応
- 来所相談 ※予約制
平日10時～16時
（土曜・日曜・祝日、年末年始を除く）
- メール相談
doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp
※返信には数日かかる場合があります

**まちの
アイドル**

3歳以下のお子さんの写真を募集しています。
住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、両親の氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、まちづくり推進課企画調整グループへ。
(メール) kikaku@town.atsuma.lg.jp

みかみ のあちゃん(3)

もりもと るいくん(3)

23 広報 あつま R 1.11

2019.11 広報 あつま 22

パソコン講習

12月は初級者向け1コース（ワードで作る文書（初級））、中級者向け2コース（ワードで作る文書（中級））の計3コースを実施予定です。

講習の日程・受講料など

詳しくは苫小牧地域職業訓練センターまでお問い合わせください。

問い合わせ

苫小牧地域職業訓練センター
（☎0144-5516622、
🌐 <http://www.tomakomai.ac.jp/>）

季節労働者向け
技能講習・パソコン講習

通年雇用化を目指す季節労働者の方々に、無料で建設関連6技能講習およびパソコン講習を実施します。

受講日程など、詳しくは協議会までお問い合わせください

技能講習

〔講習内容〕玉掛け・小型移動式クレーン・フォークリフト・高所作業車・車両系建設機械（整地等）・地山の掘削および土止め支保工作業主任者

〔講習機関〕①苫小牧地域職業訓練センター、②苫小牧作業免

日時

12月4日（水）9時～12時

会場

胆振総合振興局4階第3会議室（室蘭市海岸町1丁目4番1号むろらん広域センタービル）

問い合わせ

北海道財務局（☎011-807-5144）

11月は児童虐待防止
推進月間です

虐待を受けたと思われる子どもがいたら、児童相談所や市町村の相談窓口にご連絡ください。

児童虐待とは

（身体的虐待）殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる、家の外に締めだすなど
（性的虐待）子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にするなど
（ネグレクト）乳幼児を家に残して外出する、食事を与えない、ひどく不潔なままにする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない、他の人が子どもに暴力を振るうことなどを放置するなど
（心理的虐待）言葉により脅かす、無視する、きょうだい間で差別的な扱いをする、子どもの目の前で家族に対して暴力をふ

許センター、③萩野自動車学校

パソコン講習

〔講習内容〕MOS検定対策（ワードなど）

〔講習機関〕わかるとできる苫小牧東校

参加料 無料

対象

苫小牧市・白老町・厚真町・安平町・むかわ町・日高町・平取町にお住まいの季節労働者で、雇用保険の種類が短期雇用特例被保険者であることを証明できる方。証明書類は協議会へお問い合わせください。

申し込み・問い合わせ

東胆振・日高・平取地域通年雇用促進支援協議会（☎0144-3415521）

11月は労働保険適用促進
強化月間です

事業主の皆さん、労働保険の加入はお済みですか。労働保険に加入して、従業員の方々が安心して働ける職場にしましょう。

労働保険とは、労災保険と雇用保険の総称で、労働者の生活の安定、福祉の増進等を図ることを目的に、国が直接管理運営している保険です。農林水産業の一部を除き、労働者を1人でも雇用する事業については、法

るう（DV）など

相談窓口・問い合わせ

お住まいの地域の児童相談所につながる児童相談所全国共通3桁ダイヤル☎189（いちはやく）または町民福祉課福祉グループ（☎0145-2617872）

勤務先に諸控除の申請を

給与所得者の所得税及び復興特別所得税は、通常、事業所が行う年末調整で精算されます。本年中に扶養親族などに異動があった方や保険料（生命、地震など）を支払った方は、諸控除の申告書を勤務先に提出してください。

問い合わせ

国税庁（🌐<http://www.nta.go.jp/>）、苫小牧税務署（☎0144-3213165）

全国一斉女性の人権
ホットライン

法務省及び全国人権擁護委員連合会では、夫やパートナーからの暴力や職場でのセクシュアル・ハラスメントなど、女性の人権に関する悩みや心配ごとなどを解決するため、専用相談電話「女性の人権ホットライン」を設置しています。

女性をめぐる各種人権問題に積極的に取り組むため、11月18

人・個人を問わず加入が義務づけられています。

問い合わせ

厚生労働省北海道労働局総務部労働保険徴収課（☎011-709-2311）、ハローワーク苫小牧（☎0144-3215221）、苫小牧労働基準監督署（☎0144-13317396）

司法書士による
相続登記無料相談会

これから相続登記手続の準備をする方のための無料相談会を実施します。「自分で申請するのは難しい」と感じた方は、相談した司法書士に代理申請を依頼することもできます（要別途費用）。なお、法務局では司法書士の紹介・斡旋は行いません。

内容

相続登記手続についての相談（最大30分）

日時

11月14日（火）10時～16時

場所

札幌法務局苫小牧支局2階会議室（苫小牧市旭町3丁目3番7号苫小牧法務総合庁舎）

定員

12人（完全予約制・定員になり次第締め切り）

申し込み

札幌法務局苫小牧支局（☎0144-3417151）

人権週間 困りごと
なんでも特設相談所

苫小牧人権擁護委員協議会では、人権週間（12月4日～10日）期間中「人権週間困りごとなんでも特設相談所」を開設します。毎日の生活の中で、差別、暴行、虐待、職場でのセクハラ・パワハラ・いじめや嫌がらせ、名誉棄損やプライバシー侵害などの困りごとがありましたらお気軽にご相談ください。

日時

12月5日（木）13時～16時

場所

総合福祉センター

相談員

町人権擁護委員

問い合わせ

札幌法務局苫小牧支局（☎0144-3417151）

借金・金融
一般無料相談会

北海道財務局の専門の相談員が「借金の悩み」「金融問題」を親身になってお聴きし、相談者に合った解決方法を提案します。予約は不要ですのでお気軽にご相談ください。

冬の交通安全運動

11月11日（月）～11月20日（水）

運動の
重点

- 高齢者の交通事故防止
- 凍結路面等のスリップによる交通事故防止
- 飲酒運転の根絶

厚真町交通安全推進委員会

11月の運転免許証更新時講習の日程

苫小牧市交通安全センターで行っている運転免許証更新時講習（優良）の日程をお知らせします。このほかの講習日程（一般、違反、初回）については、下記までお問い合わせください。

10時30分～11時	5日（火）、7日（木）、13日（水）、15日（金） 19日（火）、21日（木）、22日（金）、26日（火） 28日（木）、29日（金）
13時30分～14時	1日（金）、14日（木）、18日（月）
15時30分～16時	6日（水）、25日（月）

問い合わせ
（一社）苫小牧地区交通安全協会☎0144-33-1458

地方税の申告は **eLTAX** で！

eLTAXは、地方税における手続きをインターネットを利用して電子的に行うシステムです。

手続きは自宅や オフィスから	複数の地方公共団体 へまとめて一度に送信	eLTAXの サービスは無料
-------------------	-------------------------	-------------------

国と地方にそれぞれ提出する義務のある源泉徴収票・給与支払報告書を一括して、eLTAXで一元的に送信することができます。

給与支払報告書と源泉徴収票の統一様式に1回入力いただくだけで、給与支払報告書と源泉徴収票のデータが作成され、市区町村と国税庁に提出できます。

詳しくはホームページをご覧ください
<https://www.eltax.lta.go.jp/>

地方税共同機構

町 税 今月の納期
国 保 料

科 目	納 期
固定資産税 第3期	12月2日（月）
国民健康保険料 第3期	

お支払には、便利な口座振替をご利用ください。

問い合わせ 総務課 税務グループ ☎27-2481

マチの善意

自衛官等募集

自衛隊札幌地方協力本部 苫小牧出張所 ☎0144-32-3725

	自衛官候補生（第4回試験）	高等工化学校生徒（一般）
○応募資格	18歳以上33歳未満の者（32歳の方は苫小牧出張所に要連絡）	○応募資格 15歳以上17歳未満の者
○受付期間	11月14日（木）まで（締切日必着）	○受付期間 令和2年1月6日（月）まで（締切日必着）
○試験日程	11月23日（土）24日（日）のいずれか1日	○試験日程 令和2年1月18日（土）
○試験科目	筆記試験（国語・数学・社会・作文・適正検査） 口述試験、身体検査	○試験科目 筆記試験（国語・数学・社会・理科・英語・作文） ※第2次試験あり

問い合わせ窓口

〔ゆ〕…総合ケアセンターゆくり内 〔福〕…総合福祉センター 〔プ〕…役場庁舎別館前プレハブ
〔青〕…青少年センター内 〔か〕…旧かしわ保育園内

問い合わせ内容	担 当 部 署	電 話 番 号
被災された方の相談窓口 復興計画	総務課災害復興グループ	27-2481
義援金	総務課財政グループ	
り災証明・被災証明	総務課税務グループ〔プ〕	
防災対策	総務課研修防災グループ	27-2322
社会福祉・生活再建	町民福祉課福祉グループ〔ゆ〕	26-7872
子育て	町民福祉課子育て支援グループ〔ゆ〕	
高齢者福祉	地域包括支援センター〔か〕 (厚真町社会福祉協議会内)	29-7407
災害廃棄物	町民福祉課災害廃棄物グループ〔福〕	26-7871
戸籍、住民登録、墓地 国民健康保険、ごみ	町民福祉課町民生活グループ〔ゆ〕	
健康相談	町民福祉課健康推進グループ〔ゆ〕	
広報広聴、地域公共交通	まちづくり推進課企画調整グループ	27-3179
あつま災害エフエム 町有地分譲地管理	まちづくり推進課総合戦略グループ	
農林業	産業経済課農業グループ、林業グループ	27-2419
商工業、観光、水産	産業経済課経済グループ	27-2486
道路、河川	建設課土木グループ	27-2451
住宅	建設課建築住宅グループ	27-2325
上下水道	建設課上下水道グループ	27-2326
学校	教育委員会生涯学習課学校教育グループ〔青〕	27-2494
社会教育、図書室	教育委員会生涯学習課社会教育グループ〔青〕	27-2495
消防	胆振東部消防組合厚真支署	26-7119
ボランティア	厚真町災害ボランティアセンター〔か〕	080-1888-3140

町の情報を発信中

町ホームページ <http://www.town.atsuma.lg.jp/>



facebook <フェイスブック>

お知らせやイベント情報を
発信しています！

<https://www.facebook.com/atsumatownhokkaido>



LINE

無料コミュニケーションアプリ「LINE」で
災害時の緊急情報、支援情報、町政情報
などを配信しています。

※LINEアプリから友だち追加してください

・IDで追加 @atsuma

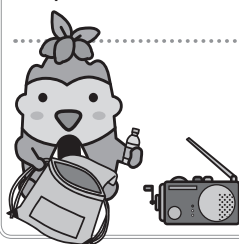
・QRコードで追加



Instagram <インスタグラム>

厚真町の今やあなたの想いを
投稿してください！

<https://www.instagram.com/atsumalovers/>



あつま災害エフエム

周波数 **81.4** MHz

放送時間
(各15分程度)

8時
12時
18時